

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.8 2011年4月30日号

編集: editor@cnar.jp 広告: pr@cnar.jp 読者登録: <http://cnar.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

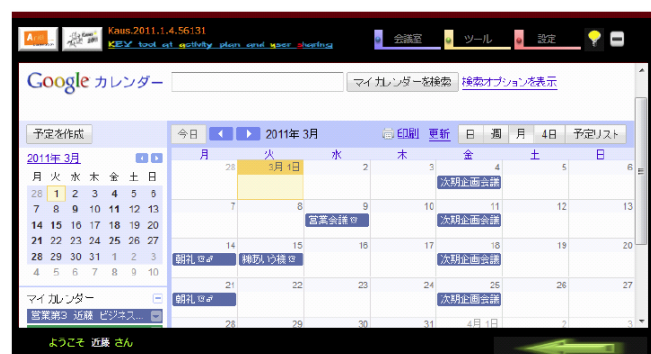
SOBA プロジェクトとアリエル、Web 会議とグループウェア接続システムを発売

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)は、Web 会議システムとグループウェアやスケジュールソフトを連動させるための接続システム「Kaus media(カウスメディア)」を発表。(4月8日)

グループウェアと Web 会議システムは別々に管理するため、ユーザにとって二度手間であり、また、その別々のシステムを一元管理するためには、個別開発やカスタマイズが必要となる。これを解消するために今回 Kaus media を発売した。



Kaus media Web 会議予約画面 (SOBA プロジェクト資料)



Google カレンダーに登録された Web 会議イメージ (SOBA プロジェクト 資料)

Kaus media は、SOBA プロジェクトと株式会社アリエル(東京都渋谷区)が共同で企画し、4月11日より販売開始する。販売は、アリエルが行う。

また同時に無償版簡易接続ツール「Kaus LE」をフリーソフトとして提供する。

Kaus media は、Web 会議システムとしては、「SOBA mieruka」や「SOBA CITY」に対応し、「Google カレンダー」、「Google Apps」、「サイボウズ」、「SharePoint」(マイクロソフト)、「Lotus Notes」(IBM)から会議予約を一元管理できる。グループウェアは企業で一般的に使用されているものに対応したが、上記以外のグループウェア、もしくは個別カスタマイズも対応可能という。

Kaus media 上から Web 会議を予約(入力)すると指定されたグループウェアに登録される。そして会議参加についてはグループウェアに登録された Web 会議 URL から直接会議に参加できるようになっている。

サポート、カスタム対応可能。初期費用無料。月額 300 円(税別)/ID。なお、無料トライアルが 20 日付く。

一方、無償の Kaus LE については、SOBA mieruka、SOBA CITY、「Skype」に対応し、Google カレンダーより予約が行える。

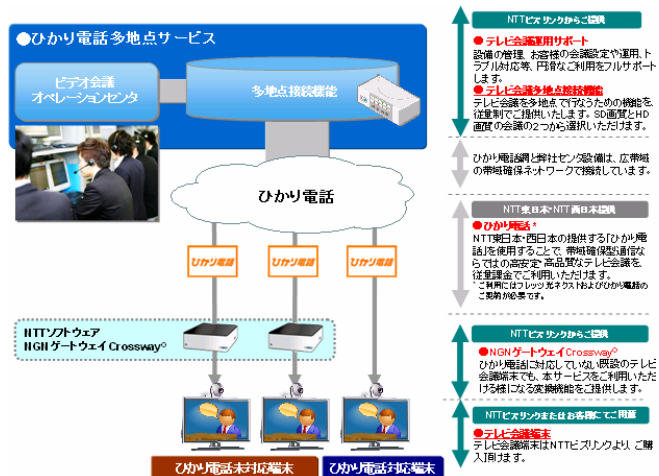
なお、Kaus media は、アリエルが 2011 年 1 月にテスト版を開発し、テスト版での仕様確認と調整が完了したため、4月11日より正式に販売開始することになった。

NTT ビズリンク、従量課金による HD 対応クラウド型テレビ会議多地点接続サービス開始

NTT ビズリンク株式会社(東京都文京区)は、従量課金によるクラウド型テレビ会議多地点接続サービスの提供を開始する。(4月1日)

このクラウド型テレビ会議多地点接続サービスは、NTT 東

日本とNTT 西日本が提供する NGN「ひかり電話」サービスを通して提供するサービス。



多地点接続サービス内容 (NTT ビズリンク資料)

HD のテレビ会議に対応している他、従来の SD 解像度のテレビ会議にも対応。また NTT ビズリンクによる運用サポートも提供される。多地点利用料金については、3 分毎の課金方式 (通話料含む) で 1 端末あたりの料金。HD については、152.25 円/3 分、一方 SD については、99.75 円/3 分となっているが、1 対 1 の接続については、料金はそれらより下がるという。

ただし、サービス利用にあたって、ユーザのテレビ会議端末は、NGN ひかり電話サービスに対応している必要があるが、NTT ビズリンクによると、ほとんどのテレビ会議端末は、NGN ひかり電話サービスに対応していないという。

そこで NTT ソフトウェア株式会社 (東京都港区) の NGN ゲートウェイ「Crossway」を使用することで、ひかり電話サービスに対応していないテレビ会議端末も、今回発表されたクラウドサービスに接続できるようになるという。Crossway はレンタルにて提供する。

なお、サービス利用申込にあたっての詳細については、別途 NTT ビズリンクにお問い合わせ要。

ITX、PDF ファイル共有機能を搭載した Web 会議サービスの新しいバージョンを発表

オリンパスグループでテレコム事業を展開する ITX 株式会社 (東京都港区) は、「MORA Video Conference (モーラビデオカンファレンス)」の Ver9.0 (ASP モデル)、Ver9.0i (サーバー導入モデル) を 5 月 18 日より販売開始する。
(5 月 18 日)



MORA Video Conference (ITX 資料)

新バージョンは、機能強化など以下の通り。

- (1) 資料共有機能の強化。既存のテキスト、画像および Office ドキュメントに加え、今回、PDF ファイル (.pdf) や PostScript (.ps/eps) をサポートした。
- (2) アプリケーション共有機能改良。議長の画面上で共有しているアプリケーションのウィンドウを移動させたり、拡大・縮小をさせたりすると、それが参加者側でも自動的に反映されるようになった。また、デスクトップ共有画面が参加者側で自動的に全画面表示されるようになった。
- (3) ホワイトボード機能追加。従来の画面拡大表示に加えて、縮小表示も可能となった。
- (4) 単一ウィンドウモード改良。議長と参加者の間での画面を完全に同一化するために、参加者リストおよびテキストボックスの表示を改良した。
- (5) テキストボックス機能改良。テキストボックスでの発言に時間表示を追加。

(6)ユーザ ID の有効期限設定機能。管理ツールからユーザ ID ごとに有効期限日の設定ができる。有効期限後の ID については、ログインの制御や自動削除の設定が可能。一時的な利用などに利用できる機能。サーバ導入モデルのみ対応。

(7)サーバソフトウェア強化。これまでの 1 サーバあたり 1000 接続までの制限を超え、より大規模なユーザのニーズに応えられるようにした。

(8)ASPサーバ構成強化。より多くのユーザからの接続に対して安定的なサービスを提供するために、サーバ構成の強化を行った。

(9)その他:バージョンアップ後の対応 OS については、Windows XP SP3、Windows Vista SP1 以降、Windows7 となる。また、イントラサーバ対応 OS については、Red Hat Enterprise Linux ES5 に正式に対応する。

MORA Video Conference は、最大 20 人(拠点)/会議室。会議室は無制限。音質は、CD 並を実現。接続は、TCP443/80 を利用。

価格については、ASP モデルが、初期費用 78,000 円(税抜き、以下同)、月額費用 3,000 円。一方、サーバ導入モデルでは、ライセンス費用 1,156,000 円から。なお、カスタマイズ、設計および構築費用は別途必要となる。

ルーシッドの無料電話会議、北米にアクセス番号設置

ルーシッド株式会社(東京都渋谷区)は、同社が提供する無料電話会議サービス「BizSpeak」にアメリカおよびカナダからのアクセス番号の提供を開始した。(4月4日)

今回アクセス番号を提供することで、アメリカ、カナダと日本の間の電話会議についても国内通話料のみで利用が可能になる。アメリカに拠点あるいは取引先をもつ日本企業や、日本に支店をもつ外資系企業が、最大 100 人までの電話会議を国内通話料のみで利用できるようになった。

BizSpeak は、初期費、月額費、利用料の全てを無料で

提供する電話会議サービス。そのため通話料のみでサービスを利用できる点が特徴。登録が不要で会議 ID を即時発行する。

ルーシッドの無料電話会議サービス、フリーダイヤルオプションサービスを発表

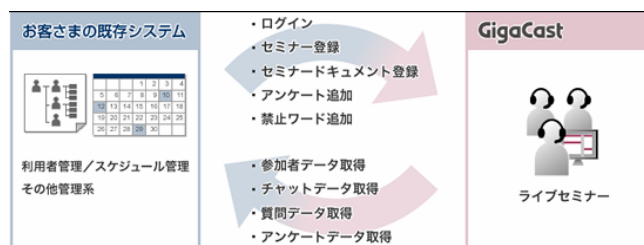
ルーシッド株式会社(東京都渋谷区)は、同社が提供する無料電話会議サービス「BizSpeak」にフリーダイヤルサービスをオプションサービスとして提供開始したと発表。(4月13日)

フリーダイヤル利用にあたっては、会議主催者となるユーザ企業へ番号を個別に案内するが、その通話料については、BizSpeak が定める料金を会議主催者に課金する。BizSpeak サービス自体は、初期費用、月額費用、利用料が無料で登録不要となっているが、このオプションサービスについては、申込と契約が必要になる。

フリーダイヤル番号については、日本国内とアメリカにおいて提供する。その他の地域については、別途確認要。サービス基本料は、3,150 円(税込、以下同じ)/月。フリーダイヤル通話料(参考)は、国内一般電話では、12.6 円/分、携帯電話/PHSは、36.75 円/分。なお、サービスの利用には、デポジット(保証金)が必要になる。

ログスウェア、POWERLIVE GigaCast の API サポート、他システムとの連携が可能に

ログスウェア株式会社(茨城県つくば市)は、同社のオンラインライブセミナー「POWERLIVE GigaCast(パワーライブ・ギガキャスト)」の新バージョンにおいて新たに API 機能をサポートすることを発表。(4月7日)



API による連結 (ログスウェア 資料)

POWERLIVE GigaCast API 機能を活用すれば、独自に構築したユーザ管理システムやスケジュール管理システムなどと POWERLIVE GigaCast を連結させることができる。これによってシステム全体に統一性、独自性、カスタマイズ性を持たせることが可能になるという。

既存システムの連結例として 2 点を同社は挙げる。

(1) 学習管理システムとの連結。オンデマンド型コンテンツが中心である従来の e ラーニングにライブ型の学習を組み込むことができる。結果、E ラーニングの適用範囲を広げられる。

(2) 就職セミナー管理システムとの連結。実会場での開催を中心に考えられてきた就職セミナーに、オンラインによるライブセミナーを加えることが可能。また既存の会員データベースを POWERLIVE GigaCast の接続することができる。これらによって、参加者の利便性向上と、開催者の時間的、金銭的負担を軽減できる。

ロゴスウェアでは、POWERLIVE GigaCast API を使った他システムとの連結を強力に支援し、オンラインライブセミナーのさらなる発展のために他のシステムとも積極的に協力体制を構築していく方針だ。

製品・サービス動向-海外

ライフサイズ、マイクロソフト OCS 2007 R2 の相互運用性を取得

ロジテック(日本法人:株式会社ロジテック)の事業部であるライフサイズ社は、マイクロソフト「Office Communications Server 2007 R2」との相互運用性を取得したと発表。(4月6日)

今回ライフサイズの「LifeSize Team 220」が相互運用性について認定され、今年中(暦年)には、その他の「LifeSize Passport」、「LifeSize Room 220」、「LifeSize Express 220」なども、マイクロソフト社より完全認定される見通しという。加えて、「Microsoft Lync」との相互運用もまもなく認定されるという。

今回 OCS 2007 R2 に対応することで以下の機能などを

サポートした。(1) 認証および暗号化(TLS/SRTP)、(2) 「Microsoft Edge Services(マイクロソフトエッジサービス)」経由のファイアーウォールおよび NAT トラバーサル。(3) OCS 2007 R2 サーバへの登録時にシステムを自動設定。(4) OCS 2007 R2 サーバからライフサイズシステムなどにコールを可能にするプレゼンス。(5) OCS 2007 R2 で共通にサポートされている映像・音声コーデックを使用して、ライフサイズシステムからサードパーティシステムへの発信が可能。(ライフサイズは、マイクロソフトの RTVideo コーデックのライセンスを取得済み) また今後は、高精細(HD)の相互運用性を実現できる次世代のサーバベース製品を計画している。

なお、ロジテック社は、すでに Lync に最適化された HD 対応ウェブカメラや USB ヘッドセットを米国にて販売している。

FuzeBox の Web 会議、多地点 HD ビデオ会議をサポート

Web ベースのコラボレーションサービスを提供する米 FuzeBox 社は、多地点 HD ビデオ会議をサポートした新しいバージョンの「Fuze Meeting(フューズミーティング)」を発表した。(3月30日)

Fuze Meeting は、PC、Mac、iPad、Android 2.2/3.0、電話から参加ができるクラウドベースのビデオ会議サービス。720p の HD 多地点ビデオ会議は、最大 10 名までの同時参加に対応。この技術は、Vidyo 社の H.264/SVC を採用している。

FuzeBox 社のコラボレーションサービスは、モバイルからウェブ環境までサポートしたコラボレーションサービスで、音声会議から、映像や画像共有機能、そして今回のハイデフィニション(HD)などもサポートする。提供している製品は、「Fuze Meeting」、「Fuze Messenger」、「Fuze Movie」、「Internet Fax」、「Voicemail-To-Text」、「Internet Answering Machine」、「HD Audio Conferencing」など。同社は、1998 年設立以来、テレフォニー、ウェブ、ビジュアルメディア技術の分野で 23 の特許を取得し、現在さらに特許申請中として 42 件ある。本社は、サンフランシスコ、サンタバーバラ(加州)、ソフィア(ブルガリア)にもフィスがある。

8x8 社、中小向けクラウドベースのビデオ会議サービス発表

米 8x8 社は、中小企業向け(SMB)のクラウドベースの HD 対応のビデオ会議サービス「The 8x8 Virtual Room(エイトバイエイト バーチャルルーム)」を開始すると発表。(4月1日)

この The 8x8 Virtual Room は、8x8 社のボイス&ビデオ IP サービスプラットフォームと、ポリコム社の「Polycom UC Intelligent Core」を組ませて開発されたサービス。このサービスによって、ユーザは、会議の予約や相手への発信、たまた多地点接続、多画面分割(CP)制御などを、マウスをクリックするように簡単に行うことができるという。

8x8 社によると、このサービスによって SMB がビジュアルコラボレーションの利便性を得られるとともに、このサービスを再販するリセラーや販売パートナーにとってもメリットのあるビジネススキームを提供していると説明する。

中華電信、Vidyo の H.264/SVC を採用しビデオ会議サービスを開始

台湾の通信大手である中華電信股份有限公司(Chunghwa Telecom)は、米 Vidyo 社の技術を活用したビデオ会議サービスを開始すると発表。(3月29日)

今回中華電信が開始するビデオ会議サービスのプラットフォームとして、Vidyo 社の H.264/SVC をベースにしたビデオ会議技術を採用した。導入しやすいコスト、使い勝手も簡単、さらに高品質な映像という点で採用を決めたと説明する。

Vidyo 社によると、これまでの7ヶ月の間に、通信事業者としては中華電信以外に、KDDI や Elisa Corporation 社からも採用された。

ビジネス動向-海外

Teliris 社、FuzeBox 社と提携、テレプレゼンスからスマートフォンまでトータルなコラボレーションを目指す

テレプレゼンスメーカーの米 Teliris 社は、米 FuzeBox 社と提携したと発表。(4月14日)

これにより、Teliris 社のテレプレゼンス環境において、FuzeBox 社のオンラインミーティングツールを統合する。テレプレゼンスシステムからパソコン、スマートフォンまでの端末を含めたトータルなコラボレーション環境を実現する。この環境を実現する技術は、両社がそれぞれ提携している Vidyo 社の H.264/SVC となる。

Chorus Call Italia 社、Ae.net (Aethra.net) 社の経営権を獲得

イタリアの Chorus Call Italia 社は、同じくイタリアの Ae.net (Aethra.net) 社の経営権(controlling interest)を獲得したと発表。(4月5日)

Chorus Call Italia 社は、米 Chorus Call 社の関連会社で、世界 10 カ国にあるコンファレンスサービスセンターのひとつ。Compunetix 社の多地点接続装置技術を活用し、音声会議、ビデオ会議、データ共有、Web キャスティングの他、カスタムソリューションやルームレンタルも行っている。米 Chorus Call 社は、イタリア以外には、スイス、ドイツ、ギリシャ、南アフリカ、ブラジル、オーストラリア、インドに拠点がある。

Ae.net 社は、音声会議、ビデオ会議、Web会議、Web キャスティング関連のサービスを提供している。ノルウェーのビデオ会議販売会社 CeeLab 社が提供するビデオ会議システムの独占的販売権を持っている。

Telstra 社、ビデオ会議 S I の iVision 社を買収、ネットワークベースのアプリケーションやサービス強化の一環

オーストラリア通信事業会社の Telstra 社が、同じくオーストラリア企業 iVision 社の買収を発表した。(4月4日)

iVision 社は、ユニファイドコミュニケーションソリューションを提供するシステムインテグレータ。ビクトリア州リッチモンドに本社を置き、メルボルン、アデレード、シドニー、ブリズベンに拠点を置く。昨年9月には、米 Glowpoint 社とマネージドサー

ビスで提携している。

Telstra 社は、ネットワークアプリケーションサービス市場で、ビデオ会議が急成長しているとする。今回 iVision 社を買収することで Telstra 社のネットワークベースのサービスを強化する狙いがある。

買収によって、Telstra 社は、3つの効果があると期待する。(1)オーストラリアにおける No.1 のビデオ会議サービス提供事業者となるとともに、アジアでトップ3の一角を獲得することになる。(2)ビデオ会議に関する設計構築ならびに顧客への提供にあたってのノウハウとリソースを得ることができる。(3)Telstra 社が展開するネットワークベースのアプリケーションやサービス成長戦略をさらに加速することができる。

iVision 社のマネージングディレクター兼オーナーの Graham William 氏は、引き続き同社の指揮をとる。

BCS Global 社、同社のデスクトップビデオ会議サービスに Vidyo 社技術を採用

BCS Global Network 社は、同社のデスクトップ向けビデオ会議サービスにおいて米 Vidyo 社の技術を活用したと発表。(3月30日)

BCS Global Network 社は、ビデオ会議やテレプレゼンスのマネージドサービスを提供する企業。Vidyo 社の技術を採用したサービスは、BCS Global 社で提供する「Virtual Presence Desktop(バーチャルプレゼンスデスクトップ)」のひとつとしてグローバルに提供される。サービス開始は、2011年4月を予定。

BCS Global 社は、イギリスに本社を置き、ニューヨーク、トロント、上海、香港に拠点をもつ。

導入・利用動向-海外

ボーイング社、シスコ WebEx 利用契約更新

米シスコシステムズ社は、航空産業大手のボーイング社が、シスコの「WebEx」オンラインミーティングの利用契約を更新したと発表。今回の更新で2年延長する。(4月1日)

シスコ自社使用以外では、ボーイング社は、WebEx サービスの最大ユーザとなる。月に、14万回のオンラインミーティングに680,000人が利用している。社内利用だけでなく社外取引先なども利用している。セキュリティも強固にしているという。

ボーイング <http://www.boeing.com/>

セミナー・展示会情報

<国内>

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』

日程:2011年5月11日(水)、18日(水)、25日(水)

6月1日(水)、8日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水)

※全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催

会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込:<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

第5回 遠隔会議システム EXPO

日時:5月11日(水)~13日(金)

会場:東京ビッグサイト・西ホール

(オフィスサービス EXPO 内)

主催:リード エグジビション ジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.recon-expo.jp/>

コンプライアンス重視の在宅勤務を実現する遠隔 Web 会議サービス SaasBoard3.1 今すぐ実施できる在宅勤務(テレワーク)

日時:5月20日(金)13:30~17:00

会場:渋谷区商工会館2F セミナー室

主催:ニューロネット株式会社、ライド株式会社

詳細・申込:<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

成功するビジュアルコミュニケーション 戦略的活用セミナー ~ 先進的利用顧客から学ぶ テレビ会議・Web 会議実践の秘訣 ~

日時:6月3日(金) 13:30~17:20 (開場 13:00~)

東京、大阪 2元中継 同時開催

会場:東京:TKP 大手町カンファレンスセンター

大阪:TKP 大阪淀屋橋カンファレンスセンター

主催:VTV ジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/1106vtv/index.html>

*基調講演は、日本大学大学院商学研究科 教授 工学博士 児玉 充 氏。

編集後記

今回もご覧いただきありがとうございます。

次回もよろしくお願ひ致します。

CNAレポート・ジャパン 代表 橋本 啓介